

音楽研究授業、響きあい学習会

2月24日に、1年4組音楽の大研（全職員が参加しての研究授業）を行いました。授業内容は、「六段の調」。お正月によく流れている、代表的な箏曲です。この曲を鑑賞して、「六段の調にはどのような味わいがあるのか」を話し合っていました。

授業後は、本校ならではの「響きあい学習会」。各クラスの学習リーダー会の生徒が授業を参観し、授業後に授業クラスの生徒・教員と共に「学びを深めるための吟味とは？」について協議しました。学習リーダー会の会長と副会長が司会を務めて、2会場でのグループ協議です。

私もグループ協議に参加しました。学習リーダー会の2年生1人、1年4組生徒2人、校長の計4人での協議。その時の会話をそのまま、お伝えします。

私：「今日の授業で吟味って？私がよくわかってないんだけど。」
1年生：「私は語彙が豊かでないので、自分が感じたことを上手く伝えられなかったけど、友だちが、ああそれってこういうことだよねとフォローしてくれたおかげで、ああこんな言い方があるんだとわかりました。」「友だちと話し合ったから上手く言えるようになったんだと思います。」

1年生：「音楽の鑑賞で吟味というと難しいけど、ある意味、これも吟味といえると思います。」

2人の1年生の発言がしっかりしているのにびっくりしました。また、

司会を担当した学習リーダー会の会長と副会長



その発言を上手くまとめて発表してくれた学習リーダー会2年生にも感心し、頼もしく思いました。

生徒とじっくり話す機会はあまりないのですが、話してみると生徒たちの成長に改めて気付かされます。今後も、このような機会をできるだけ設けたいと思わせてくれた、素晴らしい時間でした。

話し合いの様子



卒業記念品「響きあえ」

附属中の正面玄関にあった、「夢は叶う」。この度、「響きあえ」に変わりました。卒業記念品として3年生からいただいたものです。「響きあえ」の文字は、本校事務室の柄澤信代先生の筆です。素晴らしい記念品をありがとうございました。原本の額装もいただきましたので、額装は卒業式でご紹介し、その後、「夢は叶う」の額装と共に、生徒玄関に掲示します。ご来校の際に、是非ご覧ください。



卒業記念品の響きあえ



生徒玄関の額装